

中庭将棋ゼミ 虎の巻

H18年 制作

1 戦 法

2 陣 形

3 将棋の道具

制作 株式会社 中庭測量コンサルタント

(3) 振り飛車の戦法

- ① 中飛車
 - ツノ銀中飛車
 - 力戦中飛車 (ごきげん中飛車)
 - 原始中飛車
- ② 四間飛車
 - 山田流早仕掛け
 - 山田流9七角
- ③ 三間飛車
 - 急戦石田流
 - 持久戦石田流
 - 石田流升田式
 - 鬼殺し戦法
- ④ 向い飛車
 - 坂田流向い飛車
- ⑤ 藤井システム
- ⑥ 風車将棋
- ⑦ 平日将棋

中庭将棋ゼミ 虎の巻

1 戦法

(1) 居飛車系の戦法 【相居飛車】

☆ 相掛かり戦 (飛車先の歩を交換して戦う)

- ① 腰掛け銀
- ② くさり鎌銀
- ③ ひねり飛車
- ④ 塚田スペシャル
- ⑤ 棒銀
- ⑥ 中原流三七銀戦法
- ⑦ 7三角戦法

☆ 縦歩取り、横歩取り、相横歩取り、ひねり飛車

☆ 袖飛車

☆ 角換わり戦 (角を交換して、飛車先の歩は交換せずに戦う)

- ① 棒銀
- ② 早繰り銀
- ③ 腰掛け銀
- ④ 筋ちがい角

☆ 矢倉戦 (飛車先の歩を交換せず、角も交換しない)

- ① 棒銀
- ② 森下システム
- ③ 三五歩早仕掛け
- ④ 脳システム
- ⑤ 雀刺し戦法

(2) 居飛車系の戦法 【対振り飛車】

- ① 左4六銀、右4六銀
- ② 棒銀
- ③ 二枚銀
- ④ 四五歩早仕掛け
- ⑤ 鷺宮定跡
- ⑥ 5筋位取り
- ⑦ かまいたち戦法

中庭将棋ゼミ 虎の巻

2 陣形

(1) 主に居飛車系の陣形

☆ 矢倉囲い (居飛車戦法で用いられる代表的な囲い)

1 金矢倉 (六七の位置に金を置く)

2 銀矢倉 (六七の位置に銀を置く)

3 総矢倉 (四枚矢倉)

4 片矢倉

5 流れ矢倉

6 しゃがみ矢倉

7 菱矢倉 (四枚矢倉からの変化)

8 銀立ち矢倉 (金矢倉からの変化)

9 菊水矢倉 (金矢倉からの変化)

☆ 雁木囲い

☆ ミレミアム囲い (カマボコ又はトーチカ)

☆ カニ囲い (矢倉囲い等に組む手前の状態)

☆ 船囲い (矢倉囲い等に組む手前の状態)

☆ 箱入娘

☆ 中原囲い

☆ 左美濃 [八八玉形] (対振飛車に用いられる事が多い)

☆ 天守閣美濃 [八七玉形] (対振飛車に用いられる事が多い)

☆ 四枚左美濃囲い (対振飛車に用いられる事が多い)

☆ 米永玉銀冠り囲い (対振飛車に用いられる事が多い)

☆ 居飛車穴熊 (対振飛車に用いられる事が多い)

☆ 四枚穴熊 (対振飛車に用いられる事が多い)

☆ ビックフォー (対振飛車に用いられる事が多い)

(2) 振り飛車の陣形

☆ 美濃囲い (振飛車戦法で用いる代表的な囲い)

☆ 高美濃囲い (美濃囲いからの変化形)

☆ 銀冠り (高美濃囲いからの変化形)

☆ 金無双 (相振り飛車に多く見られる)

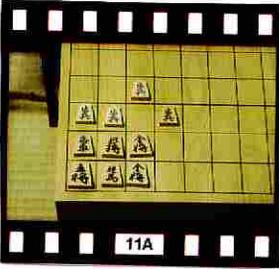
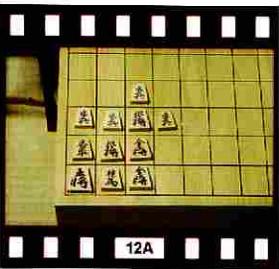
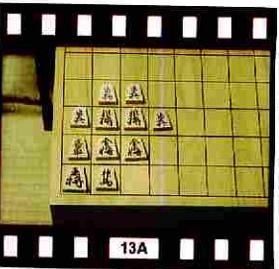
☆ 穴熊 (終盤攻め合いで手抜きが出来る)

☆ 四枚穴熊 (終盤攻め合いで手抜きが出来る)

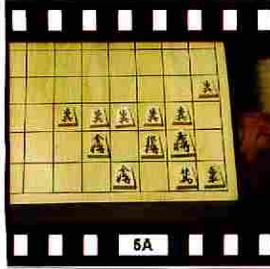
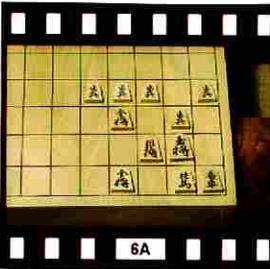
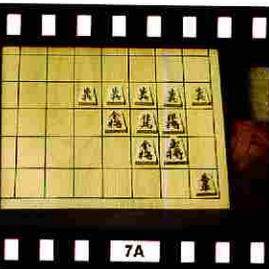
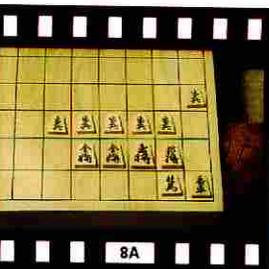
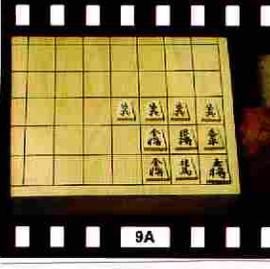
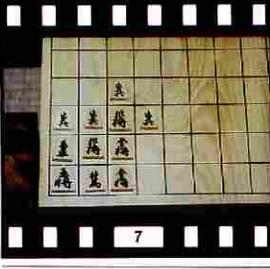
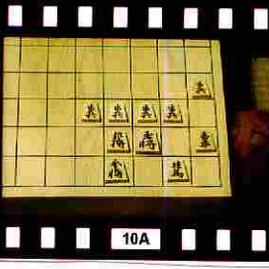
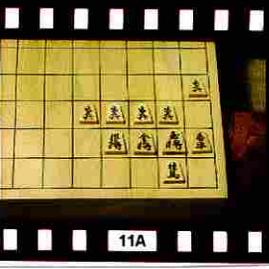
☆ 壁囲い、変化形 (急戦に用いられる)

(1) 主に居飛車系の陣形

<p>金矢倉</p> <p>22A</p>	<p>銀矢倉</p> <p>21A</p>	<p>総矢倉</p> <p>20A</p>	<p>片矢倉</p> <p>19A</p>
<p>流れ矢倉</p> <p>18A</p>	<p>しゃがみ矢倉</p> <p>23A</p>	<p>菱矢倉</p> <p>2</p>	<p>銀立ち矢倉</p> <p>24A</p>
<p>菊水矢倉</p> <p>2A</p>	<p>雁木囲い</p> <p>16A</p>	<p>ミレミアム囲い</p> <p>16A</p>	<p>カ二囲い</p> <p>6A</p>
<p>船囲い</p> <p>7A</p>	<p>箱入娘</p> <p>14A</p>	<p>中原囲い</p> <p>12A</p>	<p>左美濃</p> <p>4</p>
<p>天守閣美濃</p> <p>8A</p>	<p>四枚左美濃囲い</p> <p>9A</p>	<p>四枚左美濃囲い</p> <p>6</p>	<p>米長玉銀冠り</p> <p>10A</p>

居飛車穴熊	四枚穴熊	ビックフォー	
 <p>11A</p>	 <p>12A</p>	 <p>13A</p>	

(2) 振り飛車の陣形

美濃囲い	高美濃囲い	銀冠り	金無双
 <p>5A</p>	 <p>6A</p>	 <p>7A</p>	 <p>8A</p>
穴熊	四枚穴熊	壁囲い	壁囲い変化形
 <p>9A</p>	 <p>7</p>	 <p>10A</p>	 <p>11A</p>

中庭将棋ゼミ 虎の巻

3 将棋の道具

1 駒

☆ 駒材の種類

つけ
島黄楊（御蔵黄楊）

伊豆七島の一つ御蔵島で産出されるもので“虎斑”“赤柁”の高級材も出現する。
本榧盤で指すと、適度な堅さで差しやすい。

薩摩黄楊

薩摩黄楊と島黄楊を本黄楊と呼んで外国産と区別している。
南国で育つため、年輪の幅が少し太くなる。

中国黄楊

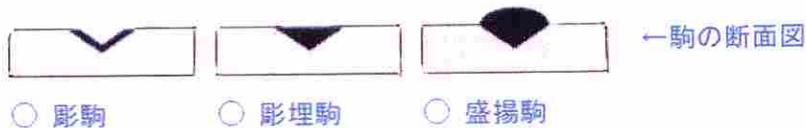
中国は広大なので、産地によって木質がかなりちがってくる。
国産と比べ、色や堅さなど格段に落ちる。価格も相当に安い。

シャム黄楊

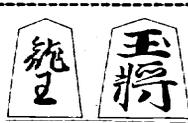
インドシナ半島が生産地。本黄楊に比べかなり安いが強度も弱く
使い込むと黒ずむ等の欠点がある。。

ほかに、桑、黒檀、紫檀、白檀、梅、椿、花梨、フライヤー
紅葉、楓、柳などが使われる。

☆ 彫り方の種類



☆ 書体

	さんきしよ 錦旗書		せきねめいじんしよ 関根名人書
	まきのりようこしよ 巻菱湖書		さかたごのみしよ 坂田好書
	りようこしよ 菱湖書		きむらめいじんしよ 木村名人書
	みなせしよ 水無瀬書		せきねめいじんしよ 関根名人書
	きよやすしよ 清安書		おおやまめいじんしよ 大山名人書
	げんべえきよやすしよ 源兵衛清安書		なかはらめいじんしよ 中原名人書
	やすきよしよ 安清書		えいほうしよ 英朋書
	こうさいしよ 康斉書		かくえんしよ 雀園書
	そうほごのみしよ 宗歩好書		ぎょくしゅうしよ 玉舟書
	さんりゅうしよ 金龍書		こうさしよ 篁釋書
	がどうしよ 鴛堂書		さんそんしよ 三郎書
	ちようろくしよ 長録書		しゅうりゅうしよ 昇龍書
	とうさいしよ 董斎書		たんだんしよ 探山書



その他の書体 英歩、古水無瀬、山華石、小野好、昭玉、蜀紅、博堂、梅里、芙蓉、法眼董斎、等々。

プロの駒師

- | | |
|-----------------|-----------|
| ◇ 初代・豊島龍山 (太郎吉) | 1862~1940 |
| ◇ 二代目・数次郎 | 1904~1940 |
| ◇ 初代・奥野一香 (藤五郎) | 1866~1921 |
| ◇ 二代目・幸次郎 | 1899~1939 |
| ◇ 木村文俊 | 1908~1984 |
| ◇ 宮松影水 (幹太郎) | 1928~1972 |
| ◇ 金井静山 (秋男) | 1904~1991 |
| ◇ 大竹竹風 (治五郎) | 1914~ |
| ◇ 二代目・日出男 | 1944~ |
| ◇ 三代目・健司 | 1954~ |
| ◇ 八代目・赤松駒権 (元一) | 1918~1982 |
| ◇ 竹内き洲 (丑松) | ~1947 |
| ◇ 増田信華 | |
| ◇ 香月 (国委重夫) | 1918~1988 |
| ◇ 久徳 (伊藤孝蔵) | 1918~1997 |
| ◇ 天竜 (国井 孝) | 1935~ |
| ◇ 秀峰 (村川邦次郎) | 1946~ |
| ◇ 掬水 (桜井和男) | 1948~ |
| ◇ 天一 (佐藤松喜) | 1950~ |
| ◇ 児玉龍児天一 (児玉悌二) | 1959~ |

2 駒箱、駒台

☆ 駒箱

駒箱の材質は、御蔵島で産出される桑で作ったものが最高とされる。島桑（御蔵島産の桑を特にこのように言う）以外では、一位、屋久杉、黒柿、枹、樺、楠、楓、花梨、タモ、黒檀、紫檀などがある。仕上がり寸法は、105ミリ×105ミリ×67ミリ

☆ 駒台

駒台は、駒箱と材質を合わせることが多い。島桑、黒柿が高級品として知られている。桂材や榿材もある。足は1本脚、4本脚がある。

3 将棋盤

☆ 盤の材料

本榿材が高級品で桂材が一般的。他に新カヤ材があります。本榿材は数ある銘木盤材の中でも特性、木目の美しさ、風格において抜きん出ている。永く使い込むほどに飴色に変化し光沢を増す。材質は堅すぎ柔らかすぎず、指す人の肩がこらない程よい弾力性があるとされるほどです。産地は宮崎県が本場で中心に九州日向地方ついで、四国が本場です。樹齢600年～800年。

カヤ【榿】イチイ科カヤ属の常緑針葉樹 学名：Torreya nucifera

桂材は木目と内部の堅さが同じで少し堅めの材質ですが、重厚にして色あいも良く、古来より普及している盤材で北海道が本場です。

新カヤ材は主に北米からの輸入材で榿目に木取りされ、色あいも明るく美しい盤材です。少々柔らかい感があります。

他の材質では、銀杏も使われますが、節がまじりやすく、弾力性は望めない。色彩は榿に似て美しい。その他では、檜、樺、楓などもある。

☆ 盤の大きさ

縦 36.4センチ（1尺2寸） ～ 38センチ

横 33.3センチ（1尺1寸）

脚の高さ 10センチ（3寸3分）

☆ 盤の脚

くちなしの花をかたどったと、古くから言われています。見物人が口だししないようにと、め・・・しかし、将棋盤の脚は八角ですが、並脚と本脚がある。

くちなしは六脚です。手作りと機械作りがあり、さらに手作りには、四つの脚の裏に盤師の氏名、製作年月日等が記されているものもある。

☆ 盤の木取り

木取りによって、そのランクに差が生じる。

- ① 四方枳 直径120センチ以上が必要。無傷の巨木。
- ② 天地枳、天枳 全体的に木目が均一で榿盤の最高級品。
- ③ 板目 (木裏) 枳盤についでが均一で全ての面に傷がない。
- ④ 板目 (木表) 盤の裏に目立った傷のない物。

盤面

